

令和２年度 第１回 下呂市地域公共交通会議 会議録

日 時 令和２年７月２日（木）午後１時３０分～午後４時３０分
場 所 星雲会館 天慶の間
出席者 １９名（代理出席含む） 欠席０名

- １．開会
- ２．市長挨拶
- ３．自己紹介
- ４．当会議の令和元年度事業報告と令和２年度事業計画について

５．協議事項

■課長

それでは協議事項に移ります。下呂市地域公共交通会議設置要綱第５条第１項の規定により議長は、会長が務めることとなっております。このあとの進行については会長であります市長、よろしくお願いします。

◆市長

それでは、議長を務めさせていただきます。議事進行にご協力をお願いします。

議第１号「げろバス金山東線停留所の新設について」事務局より説明をお願いします。

▲事務局

【議第１号の説明】

◆市長

只今の説明に、ご質問ご意見はありますか？

◆岐阜大学・倉内教授

この新設について反対という事ではないが、「設置が適当」という判断をしている点で下呂市の中で基準は設けているのか、もし決まっていなかったらバス停が離れていたという事もありどのようにして判断したのか？

▲事務局

バス停の設置基準については設けていない。「設置が適当」と判断した根拠の１つとして下呂警察署の交通課課長にも同行頂き、道路交通法上問題ない

と意見を頂いた。また、地域の住民の方に「ここに置いてもいい」という厚意を頂いたという事もあり設置に向けて前向きに検討した。

◆岐阜大学・倉内教授

問題ないと思うが、バス停がたくさんできる事でデメリットがあるかどうかという問題だけだと思う。例えば工事業者の方が大変だとかそのような事があれば何か基準は決めておくといい。

◆岐阜運輸支局・伊藤委員（代理）

戸部地区のバス停の事で、実際にバスが止まった時にバスのお尻部分から交差点の距離が5m以上離れているのか確認したい。というのも、全国的な話になるが横浜で小学生の女の子が交差点付近に停車したバスから降車後、交差点で飛び出してしまい死亡したという事故があった。それ以降対策として「バス停を交差点から5m以上離して設置する」、現在5m以内のバス停については「移設」「信号、ガードレールの設置」など対策をとっている。今回の新設は5m離れていればいいが、確認したい。

▲事務局

現在具体的な場所についてはまだ決定していないが、決定する際にはそのような事も考慮していきたい。

◆下呂土木・加藤委員

道路にバスが停まるというバス停標式説明は作っているか？

▲事務局

バスポケットまでとはいかないが、バス停看板の表示を作る予定。

◆下呂土木・加藤委員

周知をしっかりとっておかないと後続車が急にバスが止まってビックリするといけないので、その辺りの周知をお願いしたい。

▲事務局

ご覧の通りここは直線コースになっている為、視界が良好ということから下呂警察署交通課課長ともこの場所が良いのではないかと協議した。その点も含めて問題ないとはい切り切れないが若干のクリアはできると思うし、地域への周知も広げていきたい。

◆市長

ご指摘を頂いた通り「設置規則」「交差点からの距離」などの把握すべき点について、事務局では再確認し関係する機関とは改めて協議しながら設置を

進めて参りたい。

その他質問等ないので賛成の方は挙手をお願いします。

→（全員挙手）

挙手全員につき、議第 1 号は承認とします。

次に、議第 2 号「げろバス金山東線、菅田線の停留所名称の変更について」事務局より説明をお願いします。

▲事務局

【議第 2 号の説明】

◆市長

只今の説明に、ご質問ご意見はございませんか？

それでは無いようですので、賛成の方は挙手をお願いします。

→（全員挙手）

挙手全員につき、議第 2 号は承認とします。

次に、議第 3 号「げろバス金山東線の運賃の改正について」事務局より説明をお願いします。

▲事務局

【議第 3 号の説明】

◆市長

只今の説明に、ご質問ご意見はございませんか？

◆岐阜運輸支局・伊藤委員（代理）

なぜこの会議で運賃の変更の承認が必要か補足したい。まずバスの運賃は国の認可によって決まる。しかしコミュニティバスについては公共交通会議の場で議員の皆様の承認を頂ければ認可ではなく届出で変更できる。その為、この会議での承認が必要という事をご承知ください。

◆市長

その他質問等ないので賛成の方は挙手をお願いします。

→（全員挙手）

挙手全員につき、議第 3 号は承認とします。

次に、議第 4 号「げろバス金山東線の時刻表の改正について」事務局より説明をお願いします。

▲事務局

【議第 4 号の説明】

◆市長

只今の説明に、ご質問ご意見はございませんか？

それでは無いようですので、賛成の方は挙手をお願いします。

→（全員挙手）

挙手全員につき、議第 4 号は承認とします。

次に、議第 5 号「げろバス下呂中原線の路線変更について」事務局より説明をお願いします。

▲事務局

【議第 5 号の説明】

◆市長

只今の説明に、ご質問ご意見はございませんか？

◆下呂土木・加藤委員

県道の門和佐瀬戸線は「一車線で狭い」「防災対策が必要な個所」という事で雨量規制区間となっており雨量が 80 mmを超えると通行止めになっていた。バイパスを作った方が安全に通れるという事でバイパスを作った。それにより二車線にもなり、常時通れる事になった。

◆岐阜県交通運輸産業労働組合・山下委員

運転手の立場として、従来の運行していたバスは道幅が狭く決して安全と言えない状況だったが、今回のバイパス開通により安心して安全運転に努められる事に感謝している。一つ確認で、今まで門和佐瀬戸線は折り返し運行をしていた。バイパスの開通でこの区間が通行止めになった事で通常通り運営できるという事でよろしいか？

▲事務局

所長、アドバイスを頂ければ。

◆下呂土木・加藤委員

この区間の規制解除に向けて順次工事を進めていく。

◆岐阜運輸支局・伊藤委員（代理）

運賃について書いてないが、運賃の方は変更なしという事でよいか？もし変更があるならこの場で承認がないと認可が必要となるので。

▲事務局

旧路線と新しいバイパスの路線の距離が変わらないという事から、運賃の変更はない。

◆市長

その他質問等ないようなので賛成の方は挙手をお願いします。

→（挙手全員）

挙手多数につき、議第 5 号は承認とします

6. 報告事項

■課長

それでは、会議次第の「6 報告事項」につきまして、事務局より説明します。

報第 1 号「新型コロナウイルスへの対応等について」報告します。

▲事務局

【報第 1 号の説明】

■課長

只今の報告内容について、ご質問ご意見がございましたら、お受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

◆濃飛バス・有路委員（代理）

車両への消毒液設置、センターへの消毒液設置、車両の 1 運行毎の消毒など行っている。清掃も徹底して行っている。また、換気の実施について停車時にバスの換気のスイッチを押すと窓が閉まっても 5 分で車内全ての空気が入れ替わるようになっている。これに加えて運転席の一番後ろの窓を少し開けてもらうだけで、走っているとももの数分で全体の換気ができる。

「バスの中は密ではないか」と心配される声もあるので、このような体制を PR し公共交通機関は決して危険な乗り物ではないと PR したい。

乗務員向けの検温の実施も元々インフルエンザ対策で一昨年から徹底してやってきているのでお客様には安心して利用して頂きたい。

◆下呂温泉観光協会・瀧委員

週末のお客さんが増えて平日が全くいないという状況。実際バスの中ではコロナが発生していない。はじめバスの運転手さんがという事はあったが、バスが動かないと平日のお客さんが増やせない。バス会社さんにももう少し頑張ってもらいたい。

また前回の会議で観光商工課の人間が入っておらず、ご意見させて頂き今

回から観光部長にも出席して頂きありがとうございます。

前回鈴木部長から「まだまだやれていない事が多いよ」と言われ我々も知らなかったが、例えば名古屋駅で JR の切符を買って下呂で降りると 6,000 円の券が付いてくるなど、しっかり宣伝できていない事が多くそれをふまえ今年度からホームページに載せるなど思いっきり宣伝するようにした。

やはり観光に欠かせないのが公共交通。人口が減っていく中で地域を活性化させる為にできる事を考えていきたい。

■課長

次に、報第 2 号「令和元年度コミュニティバス等の運行実績について」報告します。

▲事務局

【報第 2 号の説明】

■課長

只今の報告内容について、ご質問ご意見がございましたら、お受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

◆ライドシステム・野中委員

小坂地域のデマンドが始まったばかりで、小坂の地域の方々には違った方式の公共交通という事で動きをかけている。まだまだ改善していきたいと思っているので問題等ありましたらお声をかけて頂きたい。

◆岐阜運輸支局・伊藤委員（代理）

3 月の利用が大幅に減少しているという事で、緊急事態宣言が出て自粛要請が出て公共交通に大きな影響が出ている。まずは事業者の方が社会復興の為に PR して頂く事が重要だが、例えばコミュニティバスであれば下呂市で広報誌などを使って安全性を PR したり、住民の方々の中で「バスって安心なんだよ」という話をして頂くことが大切。個人レベルで言えば手で目や鼻や口を触らなければ相当感染リスクが減るという事で、そういったこともふまえて「こうすれば感染リスクが下がるんだよ」という事を皆さんで発信して頂きたい。

◆下呂市連合自治会長・西様

担当者でないと出せない数字など我々ではその数字が妥当なのかも分からないしその数字が業者と行政の折り合いの数字だと思うが、いろんな形でデマンドとしても地域的には増えてきている。人口減少が進んでいく中で、事業者にも行政にも利用する方にも負担がかからない良い形でやっていければと思う。

◆萩原地域自治会連合会会長・熊崎様

コミュニティバスやげろバス、デマンドバスなど地域に密着した路線バスを開いて頂いたなと思う。地域の方が利用しやすい活用しやすい様に考えてやって頂いていると思う。コロナの関係で利用者数が減少しているという事はあるが、もっと活用してもらう為にはどうしたらいいか考えていく必要がある。バス停の新設の際も住民の声を聞いてやっている聞いて素晴らしい事だと思うが、まだまだ考える余地がある。

◆小坂地域自治会連合会会長・今井様

デマンド小坂が4月から始まったばかりという事で、どれくらいの方が利用しているのかと思っているが、小坂だと病院に行くのにも大変でそこでの利用が多いのではないかなと思う。もっとPRして利用者を増やして上手くやっていけるようにしてほしい。

■課長

今月末から各地域に出向いて会議を開催する予定でいる。その際には一カ月のアンケートの結果も出るので、それをもとに今言われた利用しやすい路線にマイナーチェンジしてけるように考えている。

◆下呂地域自治会連合会副会長・細江様

地元の話にはなるがデマンド上原・中原は6年くらい運行してもらっている。今資料を見て本当に人数が増えていると実感している。ただ地元の方では、もう少し便数を増やして欲しいという声も上がっている。金山便は利用者数がH31年度からR元年度にかけてのほぼ倍に上がっているという事で、このように利用者を上げていけるといい。今後もこの会議で田舎の地区の意見も取り入れて頂いて、利用しやすいものになっていくといい。

◆金山地域自治会連合会会長・山口様

下呂市全体の人口減少も激しいが特に金山地域の減少が激しいのではないかなと思う。毎年150人前後減ってしまっている状態。そういった地域での公共交通がいかに大事なものの、持続可能なシステムを維持してく為に皆さんから意見頂いて維持させていきたい。金山には洞が多く不便さに困っているが引き離さずに見守って頂きたい。

◆馬瀬地域自治会連合会会長・大屋様

馬瀬地域では4月からデマンド馬瀬の運行がスタートし、最初はデマンドバスというのは非常に柔軟性を持った運行システムで例えばミーティングポイントも必要があれば次期に設置され住民の要望に応じていけると思っていたが、実際始めて見ると瞬時にミーティングポイントを設置したりというの

は無理かなとやっと理解し始めた。その中でミーティングポイント一つ取ってみても、そのポイントで「利用が多いか、少ないか」だけで判断するのではなく、そこに住んでいる方が「そのポイントに行けばいつでも萩原などへ行ける」という安心感を与えることが一番重要だと分かってきた。空気を運んでいるだけのバスだと思っていたがそうではなく、住民の方が自分の将来に安心できる仕組みだと思った。

◆下呂温泉観光協会・瀧委員

今後の資料の作り方で、数字ばかり並べるだけでなく出た意見などを記録し残していった欲しい。そしてこういった事が改善されたなど分かればいいし我々も今後の為に参考にしたいのでそういった資料の作り方をしたい。観光が公共交通に凄く期待している意味ではなく、選択肢を大きくしたい。いろんなお客さんに来て頂いてその中で公共交通の選択ができるという状態を作っていく事で幅広い世代のお客さんに来て頂く事に繋がる。その循環で公共交通の運営もよくなればと思っている。

■課長

次に、報第3号「令和元年度福祉乗合型移動サービス事業実績について」は、担当部署であります社会福祉課より報告いたします。

▲社会福祉課

【報第3号の説明】

■課長

只今の報告内容について、ご質問ご意見がございましたら、お受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

◆ライドシステム・野中委員

まめなカーは主に交通弱者の為に公共交通になっている。特に注目して欲しいのは利用回数で2,3km範囲が一番多いが、10km周辺の利用も多い。10kmをタクシーで移動しようとする4~5千円はかかる。これがまめなカー割引を使うと3千円ほどになる。ちょっとでも安く利用して欲しいと思う。このまめなカーを使う交通弱者の方に向けて市からも3分の1程補助が出るというと思う。そうする事で距離が遠い方達も街に買い物や病院の為に利用しやすくなる。交通弱者を守るためのシステム、予算をお願いしたい。

▲事務局（社会福祉課長・林）

現在まめなカーの割引に関して市からの補助はなく、ライドシステムさんの方で負担してもらっている。市で払っているものは配車手数料のみ。今後ライドシステムさんと協議をしながら、折り合いを付けられたらと思う。

◆市長

交通弱者の方をどのように守っていくかは重要な問題。
前向きに検討していく。

◆萩原地域自治会連合会会長・熊崎様

素晴らしいシステムだと思うが福祉課ではこの利用数は多いと考えているのか？少ないと考えているのか？

▲事務局（社会福祉課長・林）

あくまで福祉行政の中で福祉有償によりまして障がい者手帳等持っているという条件の中で福祉有償を受けられる。ただ中には金銭的な問題、社会的な問題、高齢等で体力が低下しているが身体障がいまではいかない方など福祉有償が受けられない方もいる。そのような方の隙間を埋めていく為にまめなカーというものを福祉行政の一環として行っている。この利用に関して具体的に言うと、「衣食住に最低限不可欠な要所」をあらかじめ登録頂き利用機関だったり食事をするお店など限られた所にお送りするというもの。基本的には乗合としている。なので同じ方向性の利用者がいたとしても、それぞれに負担いただくという形になる。例えて言うと自宅から 1.5 km離れた所に行こうとするとタクシーで通常 880 円必要となるが、乗合で乗車の場合はそれぞれで 480 円ずつ支払う形となっている。だが見てもらう通り乗合の実績はほぼ 0 に近い。回りくどい話にはなったが、実際には限られた人の中で限られた人が利用している。

◆ライドシステム・野中委員

熊崎さん貴重なご意見ありがとうございました。要は各社が高い。市が 3 分の 1 でも補助をだして頂けると利用者も増えていくと思う。

■課長

次に、報第 4 号「令和 2 年度デマンド馬瀬、デマンド小坂の 4、5 月実績について」報告いたします。

▲事務局

【報第 4 号の説明】

■課長

只今の報告内容について、ご質問ご意見がございましたら、お受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

◆濃飛バス・有路委員（代理）

デマンド小坂の方で松尾コースというものがある。高山市と下呂市の境に

ある地区で国道 41 号に小坂久々野バイパスというものがあり完成から数年が経つが、相変わらず高山線のバスは旧道を使つての運行となっている。それについて途中に停留場が三か所ありその為旧道を使っているという事になっている。その中で一番高山寄りのあたがずにバス停があり「のらまいか」というバスを運行している。松尾のバス停についてはその為に弊社がバイパス経由になった時の為に二年前からデマンド小坂のルートに設定させてもらった。デマンドとは関係ない話になるが、柏原というバス停が旧道に入ったところにありバイパスを経由するとなるとバスが停まらなくなるという事で、地域の方々、国土事務所様のご協力を得ながら只今国道上にバス停を移設できないかという話を進めている。日にちは決定していないのでそのような話が進んでいるという事だけご承知して頂き今後の協議会の中で皆様にご協議頂く事になると思うのでよろしくお願いします。

◆岐阜県公共交通課・長谷部委員（代理）

二点質問があります。一つ目は定時制路線からデマンドへの移行で業者等の反応などスムーズにいったのか？

二つ目はデマンド小坂について高山下呂線への乗り継ぎ利用はあったのか？について聞きたい。

▲事務局

一つ目については、利用者様にアンケートを取った。「予約して利用するというものに慣れましたか？」という質問に意外と「慣れた」という回答が多く、批判的な声を多く頂く予想もしていたが受け入れて頂きスムーズに移行できたのではないかと考えている。

二つ目については、時刻表を見ると 5 分早く濃飛バスさんの方が早く出て行ってしまう様になっているが、ライドシステムさんに運用の方でカバーして頂きその時刻に間に合うように運行してもらっている。今後改めて時刻表を作っていく。

■課長

一つ目の回答に補足で、今アンケートを回収しているがやはりデマンドへの抵抗、使いづらいという声も多数ある。全てにおいて集計の結果を皆様に報告する。またその概要についても今ある時刻表の中でどう表現していくかを公共交通会議の中でも協議していきたい。アンケートも一度だけでなく何回も行った方が当然いいし色々な意見を頂戴したいと思っている。

7. その他

■課長

「7 その他」となっていますが、委員の皆様から、ご意見ご提案がありましたら、お受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

ないようですので、最後に、会議の総評としまして、倉内先生、よろしくお願いします。

◆岐阜大学・倉内教授

お疲れ様でした。まず一点目は濃飛バスの利用状況について説明いただき初めの方は3月のコロナの影響もあり下がっているという事だが、冷静に見るとそれ以上に下がっているように見える。1カ月だけではあるしそれ以上に減っているとなるとコロナだけにするのではなく、もう少し考えを深掘していく必要がある。数字を見ただけでは難しいと思うが地域に出向かされているという事で、住民の方々から話を伺ってその中から何かヒントになるものが見つかってくればいいと思う。特にデマンドのところで昨年よりも利用が35%伸びたという話もあったがご説明の中にPRができたという説明もあった。という事はやはりきちんと説明をして理解して頂ければまだまだ伸びしろはあると思う。委員の方からも「地元の方と一緒に」という良い言葉がでており、難しいとは思いますがそういった形の取り組みを行って頂ければと思う。その際に先ほど瀧委員の話でもありましたが、そういった所で出た議論を公共交通会議の中でも共有していくといい。確かにここは承認の機関ではあるが一つは皆で考えるという場所だし、あるいは事務局の方々が努力している事を皆が理解してそれを持ち帰り関係者の方々に説明して頂くそういう場でもあると思うので、一番初めの昨年度の事業報告でもやった事だけでなくどのような意見が出たのかなど細かい所まで話して頂けるといいと思う。二点目は、社会福祉課さんの方からまめなカーの説明があったが、凄くいいなと思ったのが一般的だと公共交通と福祉交通は完全に別物という事で公共交通会議には全く上がってこない様な事が多い。そんな中でこれだけ細かく報告がある事は非常に有難かったと思う。こういう事を続けていく事で連携が生まれたり、二つがよりよくなっていくと思うので意見交換を通して連携をしていって頂きたい。

■課長

有難うございました。

閉会のあいさつを生活部長 藤澤が申し上げます。

8. 閉会

●部長

閉会あいさつ

■課長

有難うございました。本日は長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。帰路の際には、お気をつけてお帰りください。